

郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議における意見の反映について

No.	主な意見内容	反映	ページ	反映内容
1	目標将来人口を30万人とした具体的な根拠（国の制度の関係など）を示すべき。	人口ビジョン	40	（3）本市人口の将来展望の中で「中核市としての実績…」、「都市圏の中心都市としての役割…」を示した。
2	人口ビジョンについては「郡山市がどういう姿になっていくか（あるべき姿）」、「6つの基本目標が相互に関連してビジョンを達成するストーリー」を示してほしい。	人口ビジョン 総合戦略	38～39 4	・人口ビジョン：「（2）目指すべき将来の方向性」 ・総合戦略：「（2）目指すべき将来の方向性」に明確に表現した。
3	人は動くということを前提として、別の場所で勉強したとしても郡山に戻って働けるようにするとか、家族は郡山に残して単身赴任で別の場所で働くことを目指せばよい。	人口ビジョン 総合戦略	38	・人口ビジョン：「（2）目指すべき将来の方向性」の2つ目 ・総合戦略：基本目標2「ひとの流れと定住促進」の基本的方向に「一度都会に出て…」と表現した。 具体的な施策については、1産業の活性化、2ひとの流れ、3子育て支援など全般に計上しており、総合的に対応している。
4	活力があって住みやすいまちを目指すため30万人を確保したいという方向性はわかりやすい。30万人の根拠は必要だが、人口の維持は大事な目標。	人口ビジョン	40	（No1参照）
5	6つの基本目標を相互に連携させて目標を実現するという視点を忘れずに、縦割りではない具体的な施策を位置づけるべき。	総合戦略	6～7	140を超える地方創生関連事業を計上しているが、形式上、6つの基本目標のどれかに分類している。（どの事業も複数の基本目標に寄与している。） 6つの基本目標が連携していることが見えるよう、全基本目標が輪になって好循環しているイメージ図を示した。（しごとづくりが人の交流につながる…、高齢者の生きがい作りが新たなビジネス（社会参加）につながる…、教育環境が整備されれば若い世代の転入者が増える…など政策パッケージの横のつながり（基本目標の連携）や好循環をイメージしている。）
6	東京から人を呼び込むには、新幹線を最大限に活用する。	人口ビジョン 総合戦略	4 各ページ	・人口ビジョン：「（1）郡山市の位置づけ」に「東北新幹線」による交通アクセスの利便性を表現。 ・総合戦略：基本目標1「しごとみがき～…」（企業誘致、新産業創出等）、基本目標2「ひとの流れと定住促進」（観光誘客、定住等）など様々な政策パッケージにおいて、新幹線など高速交通網を十分に活用した施策を計上した。
7	結婚・出産などについても多様な生き方を許容する環境があればもっと活性化するのでは。	総合戦略	17～19	基本目標3「～女性の活躍推進」で結婚・出産等を希望する人の「希望をかなえ」ることと明記している。また、政策パッケージ施策1の中で、アンケート結果における「希望」する方への支援と明記した。
8	基本目標を実現するための流れ（2040年のどの時期にどこまでやるか）が示されれば、わかりやすいしアイデアも出てくる。	総合戦略	10ページ以降	2040年の目標将来人口などの達成に向け、各基本目標に、当面の5年間の目指すべき「数値目標」や「重要業績評価指標（KPI）」における目標値を設定した。 策定後は毎年、これら目標値の達成度に基づき、戦略の見直しを行う予定。
9	政策パッケージに「市民主体のまちづくり」、「市民参加による地域活性化」を入れてほしい。	総合戦略	20	基本目標4「安全・安心に暮らせるまちづくり」の「基本的方向」に「市民、地域、市民活動団体」との連携を謳い、関連する施策として「市民協働政策提案事業」、「町内会活動促進事業」など市民主体・参加の事業を計上した。
10	震災からまだ5年なので、健康相談や食の安全確保などを続けるという市のメッセージを発信すべき。	総合戦略	1	震災復興関連など国のメニューがある事業は戦略には計上しない原則のため、関連する施策は計上していないが、「1基本的な考え方（1）本市の状況」で原子力災害からの復旧・復興について言及した。また、基本目標3「子育て支援…」の施策2で震災の影響による子どもの体力・運動能力低下等についても言及した。
11	先端産業（再生可能エネルギーなど）や医療産業などを打ち出したほうが伝わるのでは。	総合戦略	10～11	基本目標1「しごとみがき～」に厚く表現した。

No.	主な意見内容	反映	ページ	反映内容
12	女性の育児休暇は8割程度取得しているが、男性は取得していないといった話を入れるべき。	総合戦略	19	基本目標3「子育て支援～」で「男性の育児休暇取得促進」について触れるとともに、具体的な施策として「育パパサポート奨励金支給事業」などを計上した。
13	産業のまちを目指すということを明確に打ち出すべき。	総合戦略	1	「1基本的な考え方（1）本市の状況」で、「農業、商業、工業がバランスよく発達」していることを記載するとともに、基本目標1「しごとみがき～」の「基本的方向」及び各政策パッケージでにおいて、強調して表現した。
14	市独自の使いやすい奨学金の制度を作れば、子どもがいる人も住むようになるのではないか。	総合戦略	—	福島県が今後実施予定であり、制度の詳細を確認中である。なお、県事業との連携を図りながら制度の推進を図る。
15	郡山の強みは「総合力」である。	総合戦略	1 16 6～7	「1基本的な考え方（1）本市の状況」で、「農業、商業、工業がバランスよく発達」していることを記載するとともに、基本目標2「～定住促進」の施策3において「医・食・住のバランス」の良さを記載した。また、6つの基本目標を輪でつないだ「総合戦略の全体像」は総合力の表れとして掲載している。
16	基本目標について六角形にして中心に「総合力」と入れてすべての面において優れているのが郡山の強みとアピールする。	総合戦略	6～7	「郡山市総合戦略の全体像」において記載した。
17	単品（事業）を並べるよりもつながりをセットにして見せたほうが特徴が出せるのでは。	総合戦略	各ページ 6～7	各基本目標において、各事業の効果がより現れるよう複数の政策パッケージとして取りまとめ、施策の方向や目標値を定めた。また、6つの基本目標がセットになっていることを「郡山市総合戦略の全体像」において表現した。
18	郡山には何でもあるが、それだけではぼやけてしまう。「何でもできる人」は「特徴の無い人」になってしまう。	総合戦略	1 16 6～7	本市の特色は何でもあることとして、「1基本的な考え方（1）本市の状況」で、「農業、商業、工業がバランスよく発達」していることを記載するとともに、基本目標2「～定住促進」の施策3において「医・食・住のバランス」の良さを記載した。
19	今の世代にあった理想像を分かりやすく提示したほうが人口維持につながるのでは。	総合戦略	19	基本目標3「子育て支援～」の施策3で「ワークライフバランスの実現」を記載し、具体的な事業を計上した。
20	三人目の子を育てるのは大変だ。結婚の時期が遅くなるということは祖父母世代にも無理が出てくる。	総合戦略	17、19	基本目標3で「もう一人産み育てられる」と表現するとともに、子育て支援策も多数計上した。結婚の時期については、婚活支援事業を検討中。
21	子育て世帯にお金が回る、県も考えているようだが福島県に住めば奨学金に上乘せがあるというような斬新な政策が必要。	総合戦略	—	福島県が今後実施予定であり、制度の詳細を確認中である。なお、県事業との連携を図りながら制度の推進を図る。
22	何か一つ特徴的なものを考えるだけでメリハリがつく。何か一つ注目される取り組みをすればいい。	総合戦略	各ページ 6～7	保育料無料化、果樹農業6次産業化（ワイナリー）、セーフコミュニティなど
23	政策パッケージにはストーリーが描かれているのが理想。	総合戦略	各ページ	各基本目標において基本的方向を述べるとともに、政策パッケージにおいては「施策の方向」でストーリーを表現した。
24	（富山のように）義務教育を厳しくやることによって（福島の）人柄の良さなどの点数に現れない良さが失われかねないが、義務教育の整備は郡山市の弱い部分。	総合戦略	26	基本目標6「誰もが楽しく学べる～」の施策1「全国トップレベルを目指した…」で各取り組みを計上した。
25	エネルギーのある高齢者に子育て支援に助力いただけると良い。	総合戦略	23 17	基本目標5「笑顔で生きいきと～」の中で高齢者の健康・生きがいに関する政策パッケージを計上するとともに、基本目標3「子育て支援…」において「家庭や社会全体で育児を支える体制づくり」について記載した。
26	中心部で産業が繁栄していると同時に、周辺では農村地帯が残っていることが郡山市の良さということを教育にも生かしてほしい。	総合戦略	16	基本目標2 施策3に「豊かな地域資源～」、基本目標5 施策1に「多様な社会経験を持つ高齢者～」について記載した。
27	30万人は維持する必要があるが、子どもを産むだけでは無理で、交流人口を増やして人を吸引することも必要。	人口ビジョン 総合戦略	40 14～	・人口ビジョン：「（3）本市人口の将来展望」で社会移動率の改善を目標した。 ・総合戦略：基本目標2「ひとの流れ～」で各施策を展開。

No.	主な意見内容	反映	ページ	反映内容
28	地域性を大事にして多様な世代が集まれるイベントを増やしていくことが地域の子育て支援につながる。	総合戦略	各ページ	(基本目標2「ひとの流れと定住促進」、3「子育て支援～」、4「安全・安心～」、5「笑顔で～」など各目標の施策を連携し、地域の子育て支援を推進していきたい。) なお、6つの基本目標の連携を「郡山市総合戦略の全体像」で表した。
29	子どもを育てる費用というのは投資に近い。	総合戦略	17	基本目標3「子育て支援～」の「基本的方向」で「本市の将来を担う子どもたち…」と表現した。
30	県では子育てしやすい企業の認定制度があるが、郡山市でも理想的な企業を認定する制度を設けることを検討すべき。	総合戦略	—	県が既に「福島県ワーク・ライフ・バランス大賞」として子育てしやすい職場環境づくり、仕事と家庭の両立支援、男女共同参画等に積極的に取り組んでいる企業に対し表彰を行っていることから、市内企業・事業者に対して広報・啓発を行う。
31	人口ビジョンの中で、交流人口（統計は取りづらいだろうが）についても記述してほしい。	総合戦略	14	交流人口として、観光入込客数を基本目標2「ひとの流れ…」の数値目標とした。
32	30万人にこだわっても仕方ない。経済の活性化のためには交流人口を増やすことのほうが重要。	総合戦略	14～	交流人口増加策を基本目標2「ひとの流れ～」とした。
33	P D C AサイクルのC（チェック）をどのように進めていくかを組み込んで欲しい。	総合戦略	3	外部の有識者等で構成される「郡山市行財政改革推進委員会」の活用など、客観的に検証できる体制づくりを現在検討中である。
34	産学官連携による相互作用などを明記して欲しい。	総合戦略	11	「大学等との連携を強化し」を明記した。また、KPIに「産学連携コーディネート件数」を掲げた。
35	福島県内の学生が在学中に地元企業と接点を持つことができる機会の提供が必要。	総合戦略	13	基本目標1 施策4において、「大学生等インターンシップ推進事業」を実施し、さらには、首都圏に進学している学生が地元企業を知る機会を提供するなど、事業の拡充を検討している。また、県が実施する関連事業との連携を図りながら事業の推進を図る。
36	インバウンド観光の観点からWi-Fiを市内全域に広げ、アピールしてはどうか。	総合戦略	14、20	「Wi-Fi環境整備」については、基本目標2 施策1及び基本目標4 施策1（再掲）の主な取り組みに掲げた。
37	首都圏では介護のサービス量が不足し、生活がしづらくなることが予想されるため、高齢者が働けるうちに地方に帰ってこれるよう働きかけることが必要。また、空き家の活用も考えられる。	総合戦略	16、20	・基本目標2 施策3に掲げる「移住・定住促進事業」において高齢者の移住についても促進を図る。 ・空家の活用については、基本目標4 施策1に掲げる「空家等対策事業」において施策の展開を図る。
38	郡山駅前のシャッター通りも含め、中心市街地活性化に関する取り組みが必要。	総合戦略	20、22	「空家等対策事業」、「中心市街地活性化推進事業」における施策展開により中心市街地の活性化を図る。
39	「認知症サポーター養成者数」に係るKPI設定の考え方について	総合戦略	24	認知症サポーター養成講座の開催や市民認知度の向上による講座参加者数の増加により、目標値55,000を掲げた。
40	小学校年代の子どもたちに親の経済面による教育格差が生じないような仕組みづくりが必要。	総合戦略	26、28	現在「就学援助制度」において経済的理由で就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し必要な援助を行っている。また、高等学校等への進学に対する「奨学金給付制度」については、拡充を予定している。さらには、「学力向上支援事業」などにおいて、教育環境の充実を図る。
41	施策のリストに担当部署名を入れて欲しい。	総合戦略	29～47	事業一覧に担当部署を記載した。
42	数値目標の考え方を示して欲しい。	総合戦略	—	総合戦略の期間内（社会移動率と合計特殊出生率は2040年）に市民等へもたらす便益（アウトカム）を数値目標として掲げた。なお、各数値目標、KPIについては、P29以降で説明書きを加えて掲載した。
43	U I J ターン者に対する奨学金の返還支援を検討して欲しい。	総合戦略	—	福島県が今後実施予定であり、制度の詳細を確認中である。なお、県事業との連携を図りながら制度の推進を図る。
44	女性が働きやすくなるよう子育てに優しい企業・事業者を表彰する仕組みが必要。	総合戦略	—	県が既に「福島県ワーク・ライフ・バランス大賞」として子育てしやすい職場環境づくり、仕事と家庭の両立支援、男女共同参画等に積極的に取り組んでいる企業に対し表彰を行っていることから、市内企業・事業者に対して広報・啓発を行う。